写真：校歌熱烈斉唱の新入生
第61回入学式(4月5日)。新入生は同窓会制作のCDで校歌を覚え入学式に臨み、保護者や職員とともに熱唱した。

書：宮内道明(中42)　同窓会副会長
同道唱和：手をたずさえ肩を組んで力いっぱい校歌を歌う。こんな願いを込めて。
出典：碧巌録 第16則 啐啄の機

飯田高校同窓会報

第55号
発行人
長野県飯田高等学校同窓会長
長坂好忠
編集委員長
平沢義郎
印刷所
(株)南信州新聞社

同窓会事務局
TEL 0265(23)2650
FAX 0265(23)2690
http://www.iikou-d.jp/
E-mail:ikdj@iikou-d.jp

第55号 主な内容

2面 会務報告(財務・名簿)
3面 後輩に期待する
4面 学園だより
5面 支部からの発信
6面 学年だより・校歌物語
7面 事務局だより
8面 同窓会員交流の頁

一念発起を

同窓会長　長坂　好忠

平和を願うが、内外紛擾し無理非道・冷酷無慙な忌わしい事件が連発し憂いを覚えます。会員の皆様がお元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

本会活動へも役員・委員として、また学年同期会・支部会・班活のOB会等を通して各々の立場でのご協力に感謝申し上げます。ご承知のように本校は明治15年郡民の熱望によって、社会へ貢献する人物を育成する処を建学精神により開校され124年を閲します。

同窓会は会員の親睦を図り母校の発展への寄与を目的に活動していますが、教育環境整備への協力、教育振興基金の充実、高松塾、班活動への協力支援。今年は九州支部の設立があり喜ばしいが、女性や若い世代が会の存在意義を理解して積極的な参加を奨めることや、同窓会名簿発刊、支部活動の充実など課題が山積しています。

さらにその活動の資となる維持会費の納入の促進が急務です。

同窓会の活動は会員と母校のためのものであり、素晴らしい会にして次代へ引き継ぎたい。「人心不同。如面」の辞の如く、会員は千人千色、個々の考えは異なるが各人が今日在るのは母校で培って貰った人間形成の基、出会い・勉学・友情の絆のお陰と思い、母校愛を大切にし仲間意識を昂揚しお互いが社会に貢献し活躍できるようにサポートや情報交換も肝要です。

一念発起全員が**飯高バカ**になり、物心両面で智・力心を寄せて頂きたい。特に会の根幹をなす学年会の幹事、支部長さん方の強力なリーダーシップが一番必要であり大切と思います。

会員のご支援ご強力をお願いし、ご健勝とご活躍を祈念して挨拶とします。

任怨の精神を

学校長　田中　秀憲(高18)

当たり前のことを当たり前に実行できる人間、姿勢、資質が今学校教育に求められていること切なるものがあると思っています。これは親や教師が、怨まれても、嫌われても、教えるべきものは教え、躾けるべきは躾けるという、「任怨(自らけるという、「任怨(自ら進んで怨みを引き受ける)の精神」が欠けてきているからではないかと思います。

世界各地に若い俳優が出かけて行き、現地の方々と生活を共にする「世界ウルルン滞在記」という番組があります。「心は捨ててしまったら拾えない」「どんなに貧しくても、心が貧しくなっては駄目だよ」という言葉が、現地の方から発せられていました。

このような言葉を一人ひとりの胸底に胎動させることこそが、教育という営みの全てであり、このような日々の暮らしから生まれた確かな人格の言わせる言葉は、まさに哲学であると思います。

同窓会の方々の母校への熱き思いを重く受け止め、「本物の人間」の醸成に精一杯努力する所存でございます。

定期総会のご案内

平成18年度の定期総会を下記に開催致します。つきましてはお誘いあわせ多数ご参加ございますようご案内申し上げます。

記

1.	日　時	6月4日(日)　開会：午後1時30分
2.	会　場	ホテル神明閣オオミヤ　飯田市宮の前　0265(24)0038
3.	議　題	平成17年度事業決算報告・平成18年度事業予算案　他
4.	記念講演	講師　小林武彦　富山大学名誉教授(高11・龍江) 演題　「北緯80度スピッツベルゲン島の永久凍土と人間」
5.	アトラクション	謡曲と仕舞「高砂」：田中　忠さんと中41回の仲間たち 舞踊「李花の舞」池田まゆみさん　大鹿支部協力
6.	懇親会	会費5000円　開宴：4時40分 当日欠席、及び無断欠席の方には会費を申し受けます。
7.	申込み	一般会員は事務局へ電話等で　0265(23)2650
8.	備　考	維持会費1200円を受け付けます

嵐青

同窓会の集まりでは、同窓であったという一点で身分が保証され、初めて出会う人でも親密さを覚えるから不思議である。世間一般のつき合いではこうはいかない▼同窓会とは同年生の集まりの意味で使われもするが、ここではヨコのつながり同級生も含めた「飯田高等学校に在籍した人」タテの集まりだ。だから、親しくおしゃべりをしながらも、どの時代の学校に居た人かは気になる。先輩後輩だ▼戦後の26年に入学したら、時の3年生は旧制中学から6年間学んできた風格のある人たちだったが、センパイという意識はしなかった。お兄さんお姉さんとして親しく感じていたし「お前たち後輩の者は！」という態度は受けなかった。3年生は3年生なりに、1、2年生もそれなりに位置づいており、互いにひとりずつを大事にし合っていたのだと思う▼その後東京オリンピックの頃から中学高校の事件報道で、センパイが後輩を殴ったというような話が全国各地で聞かれるようになった。先輩後輩という言葉にタテ社会の非民主的ルールが幅を利かせているのだなと不快になった▼同窓会は先輩後輩のタテの集まりだが、なかみはお姉さんお兄さん妹や弟といった人間社会本来のぬくといつき合いの場でありたいし現にそうなっている。めんどうでも会費は納めておいて、この同窓会を楽しもう。(義郎)

緊急特集 同窓生はみんな同窓会員であって欲しい

同窓会に危機的課題が二つある。一つは、維持会費減収による財務危機の克服である。ついに事業縮小案が浮上した。会報は年1回6頁発行へ、総会隔年開催、支部や母校助成減額、高松塾閉鎖等々である。これでは益々萎んでしまう。歩む道は、節約節減しつつ、現事業を断固維持し、維持会費納入増を図ることではないか。もう一つは、名簿の発刊である。過剰な個人情報保護の声渦巻くなか、同窓会の維持発展に資する名簿改訂版を出し得るのか。この維持会費納入増と名簿発刊への同窓力の結集こそが同窓生に厳しく問われている。財務と名簿両委員長の熱い呼びかけに応えよう。

高校統廃合の嵐のなか　同窓会は母校を守り育てる砦

年会費完納・会員名簿発刊で盤石な基盤を！

同窓の絆・年会費1200円納入を

平成10年度比200万円の減収　活動に支障

財務委員長　橋都　正（高11）

財務委員会からお願い申しあげます。同窓会の年会費納入率が年々低下し、同窓会運営に支障をきたしております。独立100周年準備が行われた平成10年度に比べ、平成17年度は約200万近い減収です。

納入いただいた年会費は、同窓会報発行・全会員配布など、同窓会運営費に充てられます。また母校生徒の受験補習講座「高松塾」に、毎年100万円ずつ助成を行い、先生方の献身的ご努力とあいまって、目を見張る成果を挙げ、生徒・学校・保護者・地域から感謝されております。さらに19年度に「同窓会会員名簿」の発行を予定しており、18年度からその準備費用の計上が必要です。

一人ひとりにとってはわずかな額でも、卒業生2万余人の力が集まると、大きな額になります。一人ではできない大きな仕事ができます。母校後輩のためにも、世の中のためにも役立つ活動ができます。「いいことができてよかったなあ」と同窓生がお互いに自分のこととして喜び合いたい。

そのためにも納入の手続きをする**ずく**を出そうではありませんか。

毎年毎年でめんどうだと思う人には、一括納入の方法をお勧めします。80歳までの年数分を納めて終身会員になるとか、10年以上の一括納入とか、口座振り替えの手続きをしてしまうとかです。これらは、いずれも**1000円**です。済ませてしまえば、同窓会がより自分のものになります。

会員名簿（改定版）の発刊を目指して

名簿作成委員長　山田　博章（高4）

個人情報保護法の完全実施のもとでの名簿改訂版の発刊の是非を、この一年間、慎重に検討を重ねてきました。前号で「当面の方針」を報告したところ、早期に名簿を発刊して欲しいとの声が徐々に高まってきております。

世の風潮は、「個人情報」に対する過剰な防衛意識から「匿名化」をよしとする方向に走りました。しかし、最近では、行き過ぎた対応や保護法の中身を離れての警戒感だけが独り歩きし、このことが、人間関係の分断や孤立化を招き、人格を認めあって共生してゆくべき社会の仕組みを萎縮させているとの警鐘も聞かれるようになりました。

当委員会では、地縁を軸としたわが同窓会の維持発展のために「会員名簿」がこれまで果たしてきた伝統と連帯の役割を尊重し、これを絶やしてはならないとの結論から、時代のニーズにマッチした内容で発刊することを確認しました。

内容的には、保存に値する資料的側面を盛り込む一方で、法に則り悪用防止の手立てにも十分に留意し、19年度中の完成を目指して準備に入ります。

行く手には、さまざまな困難が予想されますが、「世の風潮と戦い成果を挙げん」と謳われる校歌の精神で着々と進めて参ります。願わくば、「会員名簿」の発刊が、わが同窓会の更なる活力源となることを期待しながら、会員の皆さまのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

作成の概要につきましては同封のチラシを参照され、的確なデータをご提出ください。また、完成の暁にはご購入くださいますようお願い申し上げます。

12・2 盛会！初の全国女性集会の開催
今年も開催します

11月26日（土）第1回女性参加を進める会が約80名の参加を得て、ホテル神明閣オオミヤで開催された。会場には、会員の絵画・書・工芸・生花などが飾られて、和やかな雰囲気の中で進められた。

吉澤香代子（高14）実行委員長の挨拶で「会への参加を呼びかけるために、実行委員それぞれが何十人にも連絡をとり合ったことで、多くの方が同窓会に関心を持ってもらえたことが第一の収穫」と語っている。

「同窓会への女性参加を勧めるにはどうするか」を懇談。続いて福澤邦子さん（高13）の講演「いきいき健康21」や会員演奏と楽しんだ。親睦会はランチをとりながら歓談し、交流を深めた。次回、さらに多くの仲間を誘っての参加を誓い合って閉会となった。

第2回の全国女性集会は来る**12月2日（土）**の午後に、ホテル神明閣オオミヤで開催される。

ひたむきになごやかに

素晴らしい会でした

清田　典子（高14）

私は大学時代に恩師から「飯田、下伊那地方の公民館活動は先進的」「国民の自己教育活動は生涯大切」と教えられていました。実は、その時は分からなかったのですが、今回の「女性参加の会」に出席できて、その感を強くしました。

皆さんの知的レベルが高く、真摯で前向き。この地方の女子同窓生の人材がいかに多彩かも知る機会になったようです。作品展のアイデアもよかったと思います。初めてなのに会の運営はよく練られていて、さすがと思われました。

「女性の会」の設置は、時期にマッチした当然の設立で立派だと思いました。

同窓会ホームページ

簡単に開くことができます

① Internet Explorer等をクリック
② アドレスの場所にhttp://iikou-d.jpと入力する　又は
③ 検索窓に 飯田高校同窓会 と書き
④ 検索 ボタンをクリックする
⑤ 長野県飯田高等学校同窓会 をクリックする

☆豊富な情報☆

校歌応援歌「あしたのために」全曲聴けます・懐かしい写真・現在の登校風景・航空写真・会報・支部学年情報・本会の最新情報など

会員直接書き込みの掲示板もご活用ください！

ホームページ委員会

同窓会っていいもんだよ

（高38女性　かく）

会員短信

★会報ありがとうございました。父原六郎（中31）は去る17年2月26日に永眠。4月末の満中陰の法要後、父の遺言で清内路へ納骨に。飯田一泊の翌日、父の心のふるさとである飯田中（飯田高）へ。「ここへ父が通ったのだなあ。すごく勉強したのだろうなあ。父のことだから考えることも悩むこともいっぱいあっただろうなあ。でも、清内路からは遠かっただろうなあ」「途中から中谷先生の所へ下宿したといっていたなあ」。父のことが思い出されました。

新しく輝いている学校に少し戸惑いを感じましたが、なぜか、私の胸の中にあった悲しみが少し慰められたように思いました。

ありがとうございました。（堺市・娘）

★戦前戦後を通じ在学していた47回卒として伊那谷の山野で鍛えられた身体のおかげにて至極元気にすごしております。年1回の関西支部の催しにはこの数年間皆勤。有難く存じおります。母校の益々の発展をお祈りいたします。（中47男）

★高校卒業以来、していなかった剣道を、3年前から再開しました。高校時代に取得できなかった段位の審査にも挑戦し、先日の審査会で三段に合格しました。（高38女）

我が母校 後輩に期待する

五省

毛涯　章平（中40）

私の村には、昭和10年から30年頃まで、青年学校が設けられ、年間通じて隔日に夜学を行っておりました。

生徒の大部分は、多忙な家庭事情をかかえ、烈しい労働に従事しているにもかかわらず、この夜学を楽しんで一里も二里もの山道を通ってくる姿は、涙ぐましいものだったといいます。

そうして、毎夜の学習が終わると、「五省」という反省の時間があって、静座瞑目してこれを朗唱し、放課となったのです。

五省

今日一日の旅を正に終えんとす。

吾、天地神明の前に心を整えて、明日のより高き旅路に備えんと欲す。

一、使命の自覚に悔なかりしか。

一、身心智能の涵養に不足なかりしか。

一、言語りて真実に欠くるなかりしか。

一、行動いて懸命に遺憾なかりしか。

一、神と親とを敬愛いて恥ずるなかりしか。

これを唱えた後、夜深く家路を急ぐ彼等を思うとき、高志を掲げ、真摯に生きようとする姿に深い感動を覚えるのであります。

彼等は、明日という日が人生のより高き旅路となることを期しているのです。

この「五省」は、時を超え所を問わず、志高く生きようとする者の自戒の条々というべきかと思います。

後輩の皆さん、どうぞ熟読含味されんことを。

経　歴

教職生活40年。郡教育会長、県中学校長会長を務めた。著書に「ふきのとうの餞別」「肩車にのって」「ただひたすらに」などがある。千栄。

ガールズ　ビー　アンビシャス

宮　淑子（高15）

私が飯田高校に入学した四十数年前は女子の数は全校生の1割で、男子校のイメージが強かったものです。だから祖父は高校進学に当たり、「女は女子校へ行けばいい」と言うのです。「女に学問はいらんに。早く嫁に行ったほうが幸せだに」と。祖父の言葉に祖母も母も同調の旗振りをしました。ただひとり賛成してくれたのは教育者だった父ですが、父は養子でしたから、家長である祖父の意見に刃向かうのは大変なことでした。

女の幸せはいい相手を見つけて結婚をし、子どもを産み育てることだという発想は、21世紀になった今でさえ、世の中に根強くあります。いま私はジャーナリストの仕事の傍ら、短大講師として「女性学」を教えていますが、短大を出たら働きたい、社会経験をしたいと考えている女子学生でさえ、「女の幸せは結婚であり、愛する男の子どもを産むことだ」と一方では固く信じているのです。

それは「ロマンチック・ラブ・イデオロギー」と言われるもので、教育やメディアによって注入されたジェンダー（社会的文化的性差）の刷り込みだと話しても、なかなかわかってもらえません。

共学になった飯田高校では、男女の割合がほぼ半々になり、生徒会長に女子が選出されたり、空手部では女子が全国大会に出場することになったと聞きました。「ガールズ　ビー　アンビシャス！」を言ってきた私にとっては嬉しい母校のニュースです。

こうした時代の動きが、ジェンダーフリーバッシングなどに潰されないことを祈ります。

経　歴

青山学院大学卒業。毎日新聞社発行の教育雑誌『月刊教育の森』編集部員を経て、現在はフリージャーナリスト。女性問題、教育問題のルポ・評論・講演を手掛ける。著書は『セクシュアル・ハラスメント』（朝日文庫）他多数。飯田。

自分の枠を広げよう

岡島　英由（高51）

3年前、私は、大規模農業経営がどのようなものか直接肌で感じようとアメリカへと渡りました。そして、アメリカでの農業生活のなかで、精神的な面で、重要なことを学びました。それは、積極性、そして何事にも一生懸命になることです。

私は、昔から面倒くさがりで、嫌なことに対してはすぐに目をそらしていました。また中途半端なことばかりしながらも、「なんとかなるだろう」という安易な考えばかりしていました。

そんな私は、アメリカで大きなミスを犯し、会社に損害を出してしまいました。毎日毎日悩み、日本へ帰ろうとも考えました。しかし、それでも、こんな私を使ってくれようとしている社長がいたのです。私は、会社を退くことが償いではない、目の前の仕事を全力で仕上げていくことが償いである、今までの自分を変えなければならないと気付いたのです。睡眠時間1時間が続くこともザラでしたが、一生懸命働きました。

そして、農場を離れる時、社長からの「よく働いてくれた、お前が来てくれてよかった」との言葉と同時に大粒の涙がこぼれ落ちました。私は、アメリカでの情けない出来事を含めた様々な経験に誇りを持っています。

生きている限り、人は成長し続けることができるはずです。何事にも積極的に挑戦し、一生懸命取り組むことで自分自身の限界を知ることができ、そこでさらなる目標を立て、全力でぶつかっていけば、成長へとつながります。

みなさん、様々なことに挑戦し、自分の枠を広げていってください。

経　歴

高校時代、ラグビー班に所属、花園出場。立教大学卒業後、渡米し、大規模農業経営を経験。現在、地元で農業を営んでいる。上郷。

海外からHELLO

カナダ　バンクーバーから

小笠原行秀（高4）

「お！見えるぞー」これが一日の第一声。カーテンをめくって、山が見えればしあわせー。「そりゃ行こう」。

スキーの話です。午前8時20分までに家を出れば、9時には雪の上。ゴンドラを使ってですが、標高1300メートル、バンクーバーの街と港が一望です。ご存知ですか。ウィンターオリンピックの次の開催地はここバンクーバー（人口200万）ですよ。もっとも主会場はウイッスラーで2時間ほど奥へ行きます。

私が毎日行く山は街の直ぐ裏手のグラウスという山です。12月から3月まで、天気が許せば毎日出かけます。もっとも65歳から始めたことですし、仕事もありますから、半日だけにしています。

ここバンクーバーで暮らして39年になります。船乗りをして世界中を廻った挙句、気候の温和（夏17度、冬3度）、土地の広さ、景色空気のよさに惹かれて、この土地を選びました。

日本も近くなりましたなー。NHKテレビは一日中入りますし、電話は日本へ1分10円しません。が、辛いことは本が高い。訪日の楽しみは古本探しですが、それも文庫本でです。カナダでの稼ぎでは単行本には手が出ません。

商売は木材の船積みの技術指導。家族は妻女と猫、息子4人はカナダ、東京、サンフランシスコと散らばっています。

近くにいる孫の顔を見るのが楽しみです。「学校大好き」「うんそれは結構。で何が好きなんだ」「休み時間とお弁当の時間」!?。孫は只今9人。ま、世界にはびこりますか。

プロフィール

昭和31年神戸商船大学を卒業し、川崎汽船入社。昭和42年同社を退職し、カナダ移住。趣味はテニス、スキー、ダンス、コーラス、読書、旅行。伊豆木小笠原氏の末裔。三穂。

バンクーバー港をバックにした小笠原さん

いっぱいの笑顔で逢いましょう

白井　美樹（高50）

昨年の夏から、飯田文化会館でアートマネージャーとして勤務しております。

伊那谷の豊かな自然の中で生まれ、飯田らしい芸術文化に囲まれ育ちました。そんな環境の中でいつの頃からか描いた夢が「アーティスト」ではなく、「アートマネージャー」でした。

「アートマネージャー」とは、まだまだ一般的に馴染みのない言葉であり、またその言葉自体がもつ概念さえも明確にされておりません。ただ言えることは「人々とアーティストを結ぶ架け橋」。芸術を通してのお客様との出会い、お客様の笑顔に出会えることが、私にとってこの上ない喜びです。

私たち一人ひとりが顔も性格も違うように、地域における芸術文化もまた違います。地域の歴史や伝統から、長い年月をかけて育まれ、例え真似たくても、決して真似できない地域の芸術文化。飯田にも飯田ならではの素晴らしい芸術文化があります。また、芸術文化は市民や住民一人ひとりが担っていくものです。皆さんがこれらに誇りを持ち、良いところは守り、そして新しい風を吹きこんでいただけたらと願っています。

私もまた、皆さんの素敵な笑顔に出会いたく、毎日の努力とその地域の独特の背景を考えながら、一歩ずつ歩んでいきたいと思います。

経　歴

昭和音楽大学音楽学部音楽芸術運営学科卒業。東京都内のレコード会社で広報宣伝として勤務後、現在飯田文化会館にて勤務。松尾。

創立124年

意気盛ん！母校はいつも巍々として

時はめぐりまた春が来て、九百の学徒怠らず

学園だより

去る3月4日（土）、第58回卒業証書授与式が挙行され、282人が巣立った。また、2月9日の前期入学試験により普通科42人・理数科32人が合格。倍率は、普通科2・55倍、理数科1・5倍であった。続く3月9日の一般入試を経て、4月5日（水）に入学許可式が行われ、326人（女子150人）が入学した。18年度は、生徒総数、男子519人・女子447人、計966人・学級数24でスタートした。現校歌は「千余の学徒」と歌われて久しいが、母校に学び勤める教職員を加えても千余にならなければ「九百（くひゃく）の学徒」に戻さねばとの声があがっている。本号は「巍々」をテーマに母校の一端を紹介します。情報満載の母校のHPもご覧ください。

燃えろ！翔けろ！花園へ！

北信越5県・無念なり全国切符逃す

昨11月の県大会で7年ぶり優勝のラグビー班（主将村松暁）は、厳しい冬季練習を耐え抜き、去る3月11日、全国大会をかけ北信越五県大会に臨んだ。初戦、福井代表若狭東と対戦。5―7のビハインドで折り返した後半、猛反撃、2ゴール1トライ差を追撃し、ロスタイムにロック田中がトライ、ゴールも決まり26―26の同点引き分けに持込んだ。しかし、終了後の抽選で敗退。順位戦では、石川代表の羽咋工を12―5で撃破し夏につなげた。

昨4月着任の岡工常勝時代を築いた名将湯沢一道監督（高33）のもと、部員は5回目の花園への道をひた走っている。

みんなでフォローにつく

青春の記録1000号記念

「あした」はあしたをつくって

昭和47（1972）年10月27日創刊の図書委員会機関紙「あした」が、3月24日号で1000号となった。記念号（68頁）は、創刊号や500号、歴代司書、卒業生、当時在学し現母校教諭等の回想記など満載。紙名は、なかなかまとまらず、小島康晴委員長（高26）が「あした決めよう」と言った時、林裕二委員（高27）が「『あした』にしまい」と提案し決まったという。この33年間の「母校の歩み・青春の記録」は閲覧可。

「あした」はあしたに続く力。祈健闘！

春風や 闘志いだきて 丘に立つ

難関校を含む国立私立大学への現役合格率はきわめて高い。理数工医系進学者は41%、国公私立の短大・各種専門・高看の進学者は12人。就職者は1人である。（平成18年3月31日現在）

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
北海道	1	1	大阪府立	1		東京女子	2		南山	1	
室蘭工業	1		宮崎公立	1		東京女子医科	1		日本福祉	5	
弘前	1		公立大学合計	15	4	東京電機	1	1	名城	5	1
東北	1		酪農学園	1		東京農業	13		豊橋創造	1	
山形	3		国際医療福祉		2	東京理科	4		名古屋産業	1	
茨城	2		明海	1		東邦	1		皇學館	1	1
筑波	1	1	城西	1		東洋	7		鈴鹿医療科学	1	
群馬	1		獨協	4		日本	17	3	びわこ成蹊	1	
埼玉	1		文教	11		日本医科		1	京都外国語	2	
千葉	4		文京学院	1		日本女子	3		京都産業	2	
お茶の水女子	2		目白	2		日本体育	1		京都学園	1	
東京外国語	2		城西国際	1		法政	10	2	京都女子	8	
東京学芸	4		千葉工業	4		武蔵	1	3	同志社	7	
東京農工		2	帝京平成	1		武蔵工業	1	2	同志社女子	2	
一橋	1		東京医療保健	2		武蔵野音楽	1		花園	1	
横浜国立	4		亜細亜	2		武蔵野	2	1	立命館	25	2
新潟	3	1	青山学院	6	1	明治	9	1	龍谷	7	1
上越教育	1		大妻女子	3		明治学院	8	2	大阪樟蔭女子	1	
富山	4	3	学習院	2		明治薬科	1		追手門学院	1	
金沢	3		北里	2	2	明星	1		関西		1
福井	1		共立女子	1		立教	9	2	近畿	3	
山梨	8		慶應義塾	1	1	立正	1		関西学院	5	
信州	20	6	工学院	1		早稲田	11	1	神戸女学院	2	
静岡	4	1	國學院	4		学習院女子	1		宝塚造形芸術	1	
愛知教育	1		国際基督教	1		麻布	3		姫路獨協	1	
名古屋	5		国士舘	1		神奈川	5	1	武庫川女子	1	
名古屋工業	1		駒澤	7		関東学院	1		奈良	1	
岐阜	2		実践女子	3		金沢工業	13	1	川崎医療福祉	1	
三重	4	1	芝浦工業	2	4	健康科学		1	立命館アジア太	1	
京都	1		上智	1		諏訪東京理科	2		私立大学合計	400	53
大阪	2		昭和		1	岐阜聖徳学園	4	1	大月短大		1
大阪外国語	1		昭和女子	2		東海女子	2		長野県短大	4	
和歌山	2		昭和薬科	1		静岡理工科	3		青山学院女子短	3	
鳥取	1		女子栄養	1		静岡文化芸術	1		立教女学院短大	1	
岡山	2		成蹊	5	1	星城	2		明倫短大	1	
香川	1		成城	1		名古屋学芸	2		南山短大	1	
高知	2		専修	6	2	愛知	3		公私短大合計	10	1
国立大学合計	98	16	創価	3		愛知学院	1		水産大学校	1	
高崎経済	1	1	大東文化	3		愛知医科	1	1	職業能力開発		1
埼玉県立	3		拓殖	4		愛知工業	4		港湾職業能力		1
首都大学東京	1	1	多摩	2		愛知淑徳	1		共立高等看護	1	
横浜市立	1		玉川	7		金城学院	3		名鉄看護	1	
福井県立	1		中央	10	2	大同工業	1		公立春日小牧	1	
都留文科	1		津田塾	3		中京	12	2	京都製菓	1	
長野県看護	2	1	帝京	5		中部	4		京都調理師	1	
岐阜薬科	1		東海	8	1	同朋	1		エコール辻大阪	1	
静岡県立	1		東京経済	1	1	豊田工業		1	武蔵野ファッション	1	
名古屋市立		1	東京工科	1		名古屋学院	2		デジタルエンタテイメント	1	
滋賀県立	1		東京歯科	1		藤田保健衛生	5	2	専修各種合計	9	2

女子空手道班の気迫

闘魂！2年連続全国大会へ

全国空手道大会は、去る3月24―26日と愛媛県武道館で開催され、形は一回戦に敗退、組手も2―3で北海道の恵庭南高に惜敗。団体形は、主将・中山春菜（出場時2年）、今村まり子（同）、大槻光（1年）が出場。組手は、主力の中山、今村、大槻の3選手に加え福田菜摘（1年）、鋤柄優貴（同）、小平由香（同）、黒柳有紀（同）のメンバーで北信越代表として戦った。

空手班女子は、昨秋の北信越大会の団体形（3人一組）で準優勝と大健闘し、全国大会へ連続の出場権を得た。また、5人一組で戦う団体組手でも3位に入賞し、初の全国切符を勝ち取った。

次は、インターハイ！祈る！ご健闘！

本番前の最後の調整

松井道子先生 華やかコンサート

去る3月25日、飯田市公民館ホールで、音楽教諭松井道子さんの、「ヴァイオリンスプリングコンサート」が開催され、教職員や生徒・同窓生・地元の音楽ファンが駆けつけた。華やかな舞台で春と旅立ちにふさわしい名曲が奏でられ素晴しい演奏会となった。

現職の音楽教諭の演奏会とあって、教職員や生徒をはじめ、同窓会もバックアップ。同窓生を交えた実行委員会を立ち上げ、また、美術教諭川上久光さん（高25）がポスターづくりに、同窓生と在校生で組織する**室内管弦楽団「あかいし」**も出演して、コンサートを盛り上げていた。

一方、校内では16年度秋から始まった日本最古のヤマハのアップライトピアノが置かれている正面玄関大ホールでの**リトルコンサート**が、17年度だけでも30日開催延べ60組が演奏するなど、地道な音楽文化活動が行われている。このような自己表現の営みが豊かな感受性を育んでいる。

吹奏班は知的障害者施設「明星学園」で、10年余り演奏会を開催。学園生も楽器を持ち一緒に楽しんでいる。地道な活動が伝統の演奏力を育んでいる。（3月25日）

支部からの発信

飯田の味五平餅を屋台で
東京支部

平成17年度東京支部総会が平成17年11月11日東京都千代田区のアルカディア市ケ谷で、過去最高となる約200人が出席して開催された。

同窓会本部からは長坂好忠会長（中41）が、学校からは坂巻道弘校長（高18）が出席した。

総会では12年間支部長を務められた平田達氏（中47）が勇退され、後任支部長には岡村隆臣氏（高2）が選出された。

ついで記念講演では「旭松食品がめざすもの～こうや豆腐から生みそずい、納豆いち、そして…」と題して、赤羽源一郎（高20）旭松食品株式会社社長が、今では介護食にまでジャンルを広げている同社の現状を熱っぽく語られた。

次に「田中県政誕生から小泉政権と郵政国会まで」と題して、参議院議員吉田博美（高20）国土交通大臣政務官が、同氏が長野県議会議長時代に目のあたりにした田中康夫知事と、小泉純一郎首相の手法が、有権者に直接民意を問い勝利した点で共通しているなどと話された。

その後の懇親会では、地元から取り寄せた五平餅を屋台で焼いて出席者にふるまい、出席者は焼きたての五平餅の味に故郷を懐かしんでいた。

挨拶する岡村新支部長

また往年の野球部員らを中心に青春時代にかえって校歌や応援歌の合唱が続き新支部長を迎えた東京支部総会は盛会であった。

（高19　福島砂美・記）

公民館活動を学習
座光寺支部

座光寺支部17年度総会懇親会は3月4日、地元ふじ松で28人が出席して開催。総会は、今村本会副会長挨拶、会計報告の承認などの議事後、恒例の会員講話となり、座光寺公民館長大内智治さん（高10）の「これからの公民館」と題して、5年間の実績に基づく貴重な話を拝聴した。懇親会は盛大に催され、誰もが、青春時代に戻った一時であった。

（高12　湯沢　英範）

興味深い会員による講演会
山本支部

2月5日（日）「太田家」で総会が開催され、同窓会本会から中島清副会長の出席を頂いた。毎年2月初めの開催が恒例となり、18人の出席があり、盛り上がった。今年は竹村龍之介氏（中46）による「下伊那の蚕糸業について」の興味深いお話を聞くことが出来た。竹村氏は永きに亘り蚕糸業に従事され、伊那谷特に飯田、下伊那における養蚕、蚕糸業に貢献されている。

江戸、明治、大正、昭和と詳しい資料を提示され、飯田下伊那の桑園、養蚕業の推移や、蚕種製造の歴史、山本における製糸業、飯田下伊那の製糸工場の歴史など、郷土の産業はもとより、日本を担った養蚕、製糸業の大変興味深い話を聞き、心豊かになる一時だった。

その後、年代を超えての懇親会が和気あいあい、盛大に行われ、万歳で幕を閉じた。

（高15　林　武史）

講演に聴き入る会員

岳都・学都・楽都でにぎわう
松本支部

お城を中心として3つの岳都、学都、楽都でにぎわう松本市…、飯田高校同窓会松本支部は、この地で今年度30回目の定期総会を開くことが出来ました。

平成17年6月25日、JR松本駅に近い料亭仙岳において、28人の出席者を頂き盛大な雰囲気にて開催されました。本年は総出席者の1／3にあたる9名が女性で、明るく楽しい会運営となりました。

開式にあたり斉唱された飯田高校校歌は出席者全員の胸に、遠く離れた故郷への哀愁と飯田高校の想い出を深く呼び起こしたのではと思います。

また同窓会本部の宮内道明副会長、宮下洌事務局長も遠路お出で頂き、飯田高校の現状等、詳しくご説明頂きました。

総会に続く記念講演は、同窓生でこの度瑞宝双光章を叙勲された原平吉氏（中43）に「出会いの中から」と題して、塩尻、佐久警察署長をはじめ各要職を歴任され、警察学校にて退官されるまでの36年間を振り返っての深い想いをお話頂きました。

宴席では、故郷の想い出話を肴に、飯田から遠く離れた松本の地での各々の人生を語る酒席となりました。

会の締めくくりは事務局、鳥羽健治氏（高25）の掛け声による応援歌にて、来年の元気な再会を期しました。

（高23　吉川　浩司）

多数を誇った総会出席者

ふるさとの銘酒に舌づつみ
中京支部

中京支部は2月17日、名古屋市栄の中日ビル・中日パレスで17年度定期総会・懇親会を開いた。

愛知、岐阜、三重在住の会員約90人が集まり、来賓として長坂会長、牧野飯田市長はじめ、長姫、阿智、飯田工業の各代表も臨席して盛会だった。

長坂会長が、同窓会と母校の現況を話し、牧野市長は合併の経緯や公立高校の

新役員選出される
橋北支部

11月12日市内桜町信濃屋にて橋北支部総会が開催された。25人程の懐かしい顔が集合し、本会からは宮内副会長が見えられ同窓会の現状のお話をお聞きした。

統合問題についても触れた。

取り寄せた〝ふるさとの銘酒〟喜久水を味わいながら歓談。一年ぶりの再会を楽しんだ。

（高2　木下　秀男）

野原会計より会計報告があり、役員改選となり、選考委員5名で選考された次の方々が選出された。矢高仰児氏（中44）が引退され新支部長に加納信雄（中46）、副支部長に村沢久男氏（中47）、会計に木下勝夫氏（高10）、監事に木村正人氏（中47）、勝野文男氏（高12）が選出され、連絡係として池田勲夫氏（高10）が選ばれ、新しい役員の顔ぶれが揃い橋北支部の団結を誓った。今後の活動方針が話し合われ、一年に1回の総会の開催、母校の見学訪問を決めた。

美味しい鍋をつつきつつ応援歌、校歌で会を閉じ、再会を約した楽しい会であった。

（中46　加納　信雄）

総会参加の面々

OBは応援協力を
元OB会高松倶楽部会長　村沢　久男（中47）

明治33年9月野球部は発足した。実に108年の伝統を誇る。大正14年12月追手町（現飯田美博）より上郷高松原（現在地）に学校は移転した。明治・大正・昭和と野球部は大活躍をしてきたが、昭和9年悲しい事件が起きた。時の小山校長が突然選手制度廃止を発表、当然学校内外から猛反対の声が上がったが通らなかった。当然野球部も活動を中止、昭和21年野球部が復活するまで12年間グラウンドから白球が消えた悲しい時代があった。さて高松倶楽部であるがおそらく大正15年高松原に移転した時にOB会の名称を高松倶楽部としたと思われる。白球がグラウンドに戻ってきた。授業が終わってグラウンドに出ると毎日桜の木の下の土手にハンチング帽をかぶった小柄な人が私達の練習をじっと見ている。何も言わない。初めての合宿の時に慶応大学から2名のコーチが来てくれた。以後毎年続いた。後で分かったが毎日私達の練習をじっと見ていた人は中24回卒の藤田忠夫（慶応）高松倶楽部会長で、コーチを呼んでくれたのも会長であった。

藤田会長は「現場は監督にまかせろ、OBは口を出すな、OBは母校野球部の為に応援協力すればよい」との言葉がOB会高松倶楽部の責務であり現在も受け継がれている。

会員のサインボール

老いてなお～至福のとき～
上高地の会

今年も上高地のなかまが集まってくる日が近い。

昭和22年、市田出身の中47・48期の郷友、10人が上高地をめざし、徳本を越え、焼岳に登り、島々まで歩いたなかまである。その後、大阪、金沢、東京、名古屋、長野と各地に散って40年、昭和62年に上高地に再会する。以後、御嶽、戸隠、鬼面山など山旅を毎年続けてきた。70歳を超え、中央構造線、糸魚川静岡構造線をたどり、地層や史跡を学び、旅の宿で大いに語り合う、至福の時を過ごすなかまたちである。

（中47　塩沢　茂実）

美酒を酌み交わし

九州支部立ち上げへ

最近各支部活動が盛んになり、喜ばしい限りである。そんな中、今回九州支部創立総会が、6月17日福岡市内で開催されることとなった。43支部目の誕生である。発起人幹事代表は矢沢貞夫氏（高10）が務める。

総会（支部）一覧

平成17年11月から平成18年4月までに開催された支部総会の一覧です。各支部の益々のご活躍を期待します。

11・11	東　京
11・12	橋　北
12・4	泰　阜
18 2・5	山　本
2・17	中　京
3・4	座光寺

原稿締切

次回（11.1）発行分については9月末日とします。

校歌・応援歌の大合唱!

中42　東原　美寅

恒例により2月11日、市内馬場町「和太仙」で、本会から宮内道明副会長さんのご出席をいただき開催された。

高齢化による出席減少を気にしたが、厳寒期にもかかわらず、関東・中京からの出席者を含め、前年を上回る23人が出席した。

三石幹事の司会により、幹事長から、2月21日石川良昱君、12月23日磯田栄治君逝去、その後諸報告があり、続いて宮内副会長から同窓会の現況説明等があった。次に北沢幹事から会計報告があり、続いて次期当番幹事の委嘱、その他協議がされた。

名古屋の林虔二君の挨拶、東京の篠田正君の在京四二会の現況報告と乾杯に続き、次第に談論風発し、校歌応援歌の大合唱の後、次回の再会を約し、帰途についた。

中42回生のみなさん

菅莪会の忘年会

中41　塩澤　正敏

飯田近辺在住の（飯中四一会）有志が、隔月に開催の菅莪会は、忘年会を平成17年12月10日に、常盤町・千登勢で行った。

特別の会の時は、菅莪会に所属していない諸君にも、参加を呼びかけている。今回の出席者は17名であった。今回は来賓として、同窓会事務局長の宮下洌氏のご来駕をいただいた。氏は琵琶の名手である。長坂会長の宮下氏紹介の後、氏の琵琶演奏が行われた。「平家物語」と「俊寛」である。宮下氏の低音の嫋々たる語りに合わせて、奏でる琵琶の妙音。耳なし芳一の弾奏も斯くやと思われる程であった。

戦後間もなく発足した吾が菅莪会の歩みは、連綿として今に続いている。吾等会員も、80の坂を越したが、その意気は益々軒昂である。

一六回生はますます盛大

高16　市瀬　武彦

我々16回生は先の戦争の終わる昭和20年生まれである。卒業は320余名で戦後最少であった。大学入試の競争率は低く、その後の就職もあまり苦労がなかった。後の堺屋太一の造語である〝団塊の世代〟と比べると、競い合う、という感覚が習慣的に少なく、比較的のんびりとした性格で、群れの中にいることが好きなようである。一六会が和気藹々であり続けているのは、このようなことが要因であると思えてならない。まさしく酉年である。

今から19年前の5月、「飯田高校卒業25周年事業は飯田高校の伝統的行事である」という一言で決まり。4ケ月後には280余名が集い盛大な記念式典が行われた。30周年記念、35周年記念、55歳の修学旅行、40周年記念など、その節目ふしめに一六会は行われてきた。昨年は京都で盛大に還暦祝いを行った。出席者は90名であった。今回の実行委員長の伊佐栄豊君は中川村の延寿院住職であり、京都・智積院で得度し、現在も智積院派の僧侶として活躍中である。伊佐君に朝5時から先導をお願いし、厳粛な空気の中、智積院の本堂で、還暦祝いを行った。その後、護摩堂において、一人ひとりの名前を読み上げ、護摩をたき、厄落としの荘厳な儀式が行われた。前夜祭で祇園の舞妓、芸妓5人に勧められた酒が残っており、辛かったことは言うまでもない。

今年はこの智積院に還暦祝いの記念として「楠」を植樹することになっている。また京都で友人たちに会える。いつの日にか、兜卒天からこの「楠」を一六会の友人たちと眺めてみたい。

京都・智積院にて

第1回磯吉忌　しめやかに

高7　小林　泉

島崎藤村の小説、「破戒」のモデルとなった公立下伊那中学校（本校の前身）の第1回卒業生大江磯吉（1868～1902）の命日に合わせて、飯田市下殿岡円通寺で有志によって9月4日第1回磯吉忌が片桐弘彰住職（高5）主宰でしめやかに行われた。

法要後には大江磯吉に詳しい平田正宏氏（中44）と矢澤興亜氏（高10）が分かりやすく講演し、その後下殿岡区の共同墓地にある磯吉墓地を全員で墓参した。

校歌物語②　山口不二

本校校歌3番に「侫諛（ねいゆ）の俗を退けて血ある女と謳はれし　山口阿藤その人も亦この中に育ちたり」と歌われ、飯田風越高校校歌、飯田尋常小学校や様々な文学、芸能にも歌い、讃えられる山口阿藤という女性を簡単に紹介します。

天保10年12月4日「志那のなる　山路のゆきと　もろともに　はるをもまたできゆる今日かな」と辞世を詠み、23歳のうら若き身で飯田刑場にて従容と処刑された女性が山口阿藤その人です。侫（ねい）とはおもねる・よこしま、諛（ゆ）とはへつらう・こびるという意味で、いつの世にも横行する人間の軟弱で利己的な姿勢を指します。大飢饉が連続し、国土が疲弊した天保年間、幕府はいわゆる天保の改革を進めており、飯田藩主堀親審（しげ）は時流に乗り、その政権中枢に登り詰めていた。綱紀粛正、倹約励行、風俗匡正を旨とする政権も政策が行き詰まるとともに、内外に弾劾の火の手が上がり始め、小藩困窮の飯田藩でも当然ながら留守を守る地元と江戸詰め家老との亀裂も既に生じていた。

山口阿藤は、幕府政権の一角を構成する藩主に対し、女性の身ながら一身を捨てる覚悟で、江戸城膝下において批判の行動を起こしたのであります。すなわち、藩主の片腕ともいわれる若山なる老女に諫言し、これを刺して死に至らしめたのです。

この事件は、支配する側には手痛い打撃となり、気狂い女、魔女、復讐女の私怨による異常な犯行と、一致して仕立て上げてもみ消す以外、その収拾方法が無かった。しかし、被支配の領民には、阿藤の人格が如何に貶められようが、侫諛の俗を退けんと散った潔くもはかない、いのちそのものを挙げて讃えずにはいられなかったのである。

時移り、世変わりても、歴史の彼方に今もなお、法号不二の深き色香は薫り続けている。

（高13　早川英章　長源寺住職）

山口不二の墓

辞世の書

赤石山は巍々として

高4　平澤　秀明

母校を1952（昭和27年）に卒業した関東周辺在住者で組織する「飯田高校東京27会」の第43回例会が1月21日、東京新宿の三平酒寮で約70人が参加して開かれた。会は福澤富夫代表のあいさつのあと、各係から事業や会計報告、監査報告、飯田在郷の一水会（平澤）・母校同窓会の名簿関係（山田）の報告などのあと、40年以上に亘った1月第3土曜日開催を「気象状態がベストでないところから、今後は5月の連休明けにしたい」との提案があり承認した。

校歌に酔う

女性のおしゃべりの会

高17　大場　重子

私たち高17回卒女性で主に飯田下伊那地方に住んでいる人たちで「食事をしながらおしゃべりをしましょう」という企画で、5、6年程前から3回位集まりを持ちました。

今回は女性集会に便乗して11月26日引き続き場所を移し、会を設けました。毎回5、6人～7、8人位集まりますが、一つのテーブルを囲んで話が出来る人数なのでそれは盛り上がります。その度、同じ話題が出ても新鮮で懐かしく感じられ、あの頃に引き戻されます。子育てをし仕事を持っていた頃も大変でしたがそれも終え親の介護や孫の子守りをしたりと、そんな年代になってきています。

四十数年前の清純な乙女らも間もなく60歳の還暦を迎えようとしています。また生まれ変わったつもりで心機一転し今までとは違った自分に出会えたら嬉しいと思っています。周りの人から元気をいただいたりまた私からもあげられたらと思います。今後の女性集会も益々盛会でありますように。

卒業32周年の集い「風夢の会」の血潮燃ゆ

高26　伊藤　康彦

去る2月25日（土）、午後6時より、恒例の高26回卒同期会（卒回二六をフムと読み＝「風夢の会」と称す）がマリエール飯田別館において開催されました。

当日は、伊藤敦先生・土屋征七郎先生のご出席も頂き、総勢46名でおおいに盛り上がりました。

幹事クラスD組の山内恒弘君の挨拶でスタート。ご挨拶&乾杯を土屋先生にお願いし、歓談へと進みました。伊藤先生のご挨拶のあとは、各クラスごとのテーブルもメンバーが入れ代わり、近況報告や思い出話にしばし花が咲きました。

宴たけなわのうちに校歌を高らかに斉唱し、次年度の幹事H組を紹介し、次回の再会を約して会を閉めました。

この後、用意されたバスでほぼ全員が、2次会会場へ移動。更にメートルを上げました。

「風夢の会」万歳！

〈風夢の会〉のなかま

友よ若木の

草田　照子（高15）

冬銀河流るるかすかなる音を信濃出できて聞くこともなし
忘れたくて忘れしものをクラス会に曝されて羞（やさ）し失敗ひとつ
下駄履きの男子の並ぶ記念写真にわれまるまるとして
カマキリや穴熊ばかり出でてきて思ひ出せない教師の名前
女子高生なりしは昔さはあれど（友よ若木の）精神（こころ）は老いず

事務局だより

ご存知ですか？
―宛名の下の6桁の数字の意味は―

同窓会では、全員の皆様に各々個人番号をつけています。この6桁の数字には左記のような意味があります。但し、平成19年に発刊予定の新名簿により変わる人もありますので、ご了承下さい。

また、同窓会からの郵便物の宛名を見て頂くと、会員氏名の下に2文字が記されていますが下記のような意味があります。

○　○○　○○○
- 0＝中　1＝併　2＝高
- 回数学年
- 学年内の番号（50音順）

- 高齢＝80歳以上で納入免除の人
- 終身＝終身会費を納めた人
- 前納＝当年度は納めてある人
- 引落＝郵便引落しの手続きによる人
- 未納＝当年度分未納の人

悪質な電話や文書にご注意を

最近会員の自宅へ、飯田高校や飯田高校同窓会の名を騙り、職員の偽名まで使って、会員の住所・電話番号を聞き出す悪質な電話が増えています。同窓会や母校ではこのような問合わせはいっさい行っていませんし“名鑑”などは作っていませんので、そうしたまぎらわしい電話や文書などには、くれぐれもご注意下さい。

寄贈品の紹介

琴を受取り満面の笑顔の部員達

17年度教育振興基金により修復された島地五六初代校長筆による飯田城絵図

- ○共訳「ヒンチン数学解析8講」「みえる数学の世界」1・2・3「ジュニア数学百科」（学校図書館へ）　丸山　哲郎（中45）
- ○不動産関係図書「不動産鑑定評価の実践理論」他40冊　平澤　春樹（高13）
- ○共著「伊那谷の文学碑」　吉澤　健（高 5）
- ○「吉川　勝一遺画集」吉川　勝一（高8）　吉川　剛彦（高36）
- ○高58回生　卒業写真集「2006長野県飯田高等学校」
- ○「原種洋蘭図鑑」 Ⅰ 解説編 Ⅱ 写真編（学校図書館へ）シリーズ「クレスのランものがたり」①～⑫12冊（学校図書館へ）　唐沢　耕司（中47）
- ○「長野県詩集38」、〈記録小説〉「霊妙」　池田　錬二（中36）
- ○「私のサラリーマン人生の記録」　丸山　利夫（高 9）
- ○「ほとけのおしえ今ここに」　早川　英章（高13）
- ○琴1面　高18回女性

会費の納入について

会費の納入には、次の方法があります。

①郵便振替用紙による
年額　1200円

②郵便普通預金からの自動引落し方法
年額　1000円
（登録手続きが必要）

③事務局または、総会などの会合の機会に現金扱い

会則により前年度までの未納分は請求しません。納入は当年度からで結構です。

※10年以上一括納入もしくは10人以上一括納入の場合は年額1000円となります。

会員訃報

〔中回生〕
- 25 木下　精彦　17・11・8
- 29 塩沢　益保　17・8・10
- 29 田中　正明　18・1・8
- 30 本橋　茂夫　17・7・13
- 32 坂井　益三　18・1・10
- 33 清水　恒雄　17・1・22
- 34 菅沼　睦男　17・11・28
- 34 寺澤　徳四　16・1・27
- 35 嶽野　弘司　18・4・6
- 35 長坂　晃　18・3・15
- 36 木下　藤夫　18・2・1
- 36 清水　民夫　17・12・29
- 39 伊藤　富造　17・5・13
- 40 金澤　聖　17・9・25
- 41 林　直司　17・5・28
- 42 石川　良昱　17・3・21
- 42 代田　和一　16・11・17
- 43 田口　元　17・9・14
- 43 原　平吉　17・10・27
- 45 大原　嘉典　17・11・15
- 45 塩沢　昭人　17・7・31
- 45 高橋　武市　18・2・19
- 46 伊原　素三　17・10・2
- 46 下平　文穂　16・10・30

〔高回生〕
- 2 坂　道夫　17・12・22
- 3 久保　寛彦　17・2・23
- 4 川上　愛義　17・9・11
- 4 塩沢　重喜　17・4・2
- 4 楯　郁夫　17・8・25
- 5 渡辺　嘉人　17・5・21
- 6 金倉　隆士　17・3・28
- 6 菅沼　廣二　17・8・29
- 7 元島　進　17・11・25
- 8 小野　三郎　17・12・2
- 10 牧野内　潤司　17・7・11
- 11 吉川　和利　17・8・4
- 17 原　暢宏　17・5・9
- 19 浜島　吉男　18・1・10
- 21 伊藤　和夫　18・3・9
- 27 木下　浩　17・10・21
- 28 飯塚　由里子　17・9・2
- 29 山内　かおる　17・6・20
- 34 伊藤　正　17・11・9
- 44 松島　徹　16・12・27

平成18年度一般会計収支予算書（案）
（平成18.4.1～平成19.3.31）

【収入の部】　（単位　円）

科目	本年度予算	前年度予算	増・減	備考
繰越金	1,772,533	2,126,231	△353,698	
入会金	489,000	481,500	7,500	326名 入会時@1,500円
維持会費	6,800,000	7,700,000	△900,000	
在校生維持会費	3,260,000	3,210,000	50,000	326名
会報広告費	800,000	800,000	0	
雑収入	400,000	400,000	0	CD販売・名簿印刷
会費前受積立	1,500,000	0	1,500,000	名簿作成準備
合計	15,021,533	14,717,731	303,802	

【支出の部】

科目	本年度予算	前年度予算	増・減	備考
（総務費）	(5,410,000)	(6,090,000)	(△680,000)	
人件費	3,200,000	3,300,000	△100,000	
事務費	500,000	500,000	0	
水道光熱費	120,000	110,000	10,000	灯油値上がり他
慶弔費	50,000	100,000	△50,000	
総会費	100,000	400,000	△300,000	
役員会費	50,000	80,000	△30,000	
委員会費	50,000	200,000	△150,000	
通信費	200,000	150,000	50,000	
印刷費	650,000	600,000	50,000	
旅費交通費	300,000	400,000	△100,000	
振替手数料	150,000	200,000	△50,000	
雑費	40,000	50,000	△10,000	
（事業費）	(4,076,000)	(5,400,000)	(△1,324,000)	
支部祝儀費	400,000	550,000	△150,000	
会報発行費	2,700,000	3,300,000	△600,000	印刷 80万円 郵送 190万円
CD制作費	276,000	800,000	△524,000	
諸会合会費	250,000	300,000	△50,000	学年・緒会合
OA化諸費	300,000	300,000	0	
生徒褒賞費	150,000	150,000	0	
（クラブ助成費）	(978,000)	(1,000,000)	(△22,000)	
（高松塾助成費）	(0)	(1,000,000)	(△1,000,000)	18年度より基金
（会費前受積立）	(768,000)	(1,200,000)	(△432,000)	
（在校生会費前受積立）	(2,282,000)	(0)	(2,282,000)	
（予備費）	(7,533)	(27,731)	(△20,198)	
（名簿作成費）	(1,500,000)	(0)	(1,500,000)	
合計	15,021,533	14,717,731	303,802	

平成17年度一般会計収支決算書（案）
（平成17.4.1～平成18.3.31）

収入合計額　15,215,322円
支出合計額　13,442,789円
差引残高　1,772,533円

【収入の部】　（単位　円）

科目	本年度予算A	決算額B	差異A－B	備考
繰越金	2,216,231	2,126,231	0	
入会金	481,500	481,500	0	321名
維持会費	7,700,000	7,714,500	△14,500	
在校生維持会費	3,210,000	3,210,000	0	321名
会報広告費	800,000	845,000	△45,000	
雑収入	400,000	838,091	△438,091	
合計	14,717,731	15,215,322	△497,591	

【支出の部】

科目	本年度予算A	決算額B	差異A－B	備考
（総務費）	(6,090,000)	(5,951,091)	(138,909)	
人件費	3,300,000	3,188,200	111,800	
事務費	500,000	462,073	37,927	
水道光熱費	110,000	116,728	△6,728	
慶弔費	100,000	36,640	63,360	
総会費	400,000	261,195	138,805	
役員会費	80,000	342,199	△262,199	
委員会費	200,000	273,476	△73,476	
通信費	150,000	200,345	△50,345	
印刷費	600,000	609,240	△9,240	
旅費交通費	400,000	286,005	113,995	
振替手数料	200,000	141,990	58,010	
雑費	50,000	33,000	17,000	
（事業費）	(5,400,000)	(5,328,698)	(71,302)	
支部祝儀費	550,000	519,870	30,130	
会報発行費	3,300,000	3,204,611	95,389	
CD制作費	800,000	756,220	43,780	
諸会合会費	300,000	317,145	△17,145	
OA化諸費	300,000	410,852	△110,852	
生徒褒賞費	150,000	120,000	30,000	
（クラブ助成費）	(1,000,000)	(963,000)	(37,000)	
（高松塾助成費）	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
（終身会費積立）	(1,200,000)	(200,000)	(1,000,000)	
（予備費）	(27,731)	(0)	(27,731)	
（未払金）	(0)	(0)	(0)	
合計	14,717,731	13,442,789	1,274,942	

編集を終えて

昨秋、維持会費減収による財務改善策として、年1回発行案、6頁編集案、更には、「維持会費未納者に送付しない」案も出された。

私たちは、会報をはじめとして、諸事業を縮小することなく、会務全般の節約に努めながら、会費納入増を目指すべきと訴えた。同窓会の危機克服を全国に呼びかけるためにも、本号は8頁編集となった。

しかし、財務危機が進行すれば、次号から未納の方には送ることができなくなるかもしれない。

「なんだか寂しいぞ」「何やっとるんな」「一ヶ月100円だぞ」と屋上から叫んでみたいが、今は屋上には簡単には上れない。

お忙しいなか、交流の頁に参加された方、原稿をお寄せ戴いた皆さまに感謝申し上げます。次号は11月1日発行の予定です。〈韶〉

編集委員

- 委員長　高6　平沢　義郎
- 副委員長　高11　中島　正韶
- 委員　高4　平澤　秀明
- 高7　小林　泉
- 高12　小林　賢二
- 高15　戸谷　広恵
- 高15　林　武史
- 高17　平澤　忠明
- ㊨高19　福島　砂美
- 高22　嶋倉　淳子
- ㊨高36　宮下　裕子
- 高51　小原　一将
- 学校委員　高24　下平　裕司
- 高27　遠山　秀俊
- 高30　伊藤　秀明

「仲好」

黒河内英雄（中33回）

中国の民族衣装の少女です。高齢で物忘れがひどくなりましたが、絵の仲間を探しております。

宗教法人 峯高寺
先代住職 篠田知秀（中35回）
住職 篠田知並（高23回）

飯田瓦斯株式会社
会長 大田中一郎（中41回）
社長 大田中峰雄（高22回）

ファッション かのうや
橋北支部長 加納信雄（中46回）
会長 加納弘久（高36回）
飯田市江戸町2丁目286-2
TEL 0265-22-2572

南信ヤクルト販売株式会社
会長 吉野　俊（中43回）
社長 吉野伸彦（高25回）

Yakult
本店 〒399-0005松本市野溝木工1丁目3番34号
TEL (0263)25-8912(代) FAX (0263)25-9229
伊北営業所 〒399-4601上伊那郡箕輪町中箕輪1849
TEL (0265)79-8380　FAX (0265)79-4960
飯田営業所 〒395-0811飯田市松尾上溝3101
TEL (0265)22-2200　FAX (0265)24-5054

第55回創造展出陳
「白銀の山　…穂高…」100号F
小嶋良三（中44回）
阿智村春日571-4　TEL·FAX 0265-43-2280

下伊那郡遺族会会長
同窓会　阿智支部
支部長 奥澤清男（中47回）
下伊那郡阿智村智里4886
TEL 0265-43-2408

関西支部総会開催のお知らせ

関西支部総会を下記により開催しますので関西在住の会員の皆さま多数ご出席下さい。

記
日　時　平成18年6月24日(土)　11時～
場　所　大阪弥生会館(JR大阪駅北、徒歩5分)
内　容　総会と懇親会(同窓会長ご出席)

正式なご案内は、5月中旬往復ハガキにて。
問合せ先　(TEL 072-298-8497　原)

関西支部連合会長 小池　亨（高5回）
同 連合幹事長 宮澤俊樹（高12回）
同 大阪支部長 原　清志（高6回）
同 京都支部長 三沢謙一（高5回）
同 神戸支部長 日置泰弘（高12回）

赤石山は麓々として　我が南信の骨を成し　天竜川は遠遠として　我が伊那郡の血を成せり

在京飯田高校同窓会
会長 岡村隆臣（高2回）
■事務局　本島信法律事務所内
101-0047東京都千代田区内神田1-18-13 星徳ビル2階
電話＝03-5217-0666　FAX＝03-5217-0667

松原薬局
飯田市時又513-6
TEL·FAX　0265-26-9455
薬剤師 松原章人（高4回）
教員 松原由香（高36回）

We Serveをモットーに!
ライオンズクラブ国際協会334-E地区
飯田長姫ライオンズクラブ
会長 福澤亀人（高6回）
喬木村12361-2
TEL 0265-33-3002

株式会社ミナミ
会長 熊谷　栄（高4回）
社長 熊谷　彰（高33回）
飯田市松尾城4325

文筆業 大平栄一郎（高10回）
〒418-0011
静岡県富士宮市粟倉1147-42
TEL 0544-24-7550

飯田高松高校8回生へ

八松会50周年記念大会開催

50周年記念大会　会長 中島　清
日　時　平成18年(2006年)9月23日(土)
会　場　ホテル神明閣オオミヤ(飯田市宮の前)
記念大会協賛 卒業50周年記念八松会展（東京）

安藤勝（高14回）

～ 新築住宅·リフォーム·不動産 ～
株式会社タカマツ
代表取締役 渡辺英雄（高10回）
飯田市上郷黒田1855-2　TEL 24-4111
中央大学 白門会 飯田支部長

三七会(高14回生)の皆さんへ!!
卒業45周年記念同窓会のお知らせ

開催日　平成18年9月17日(日)～18日(月)㊗
場　所　ホテル神明閣オオミヤ
オプション　(1)地域めぐり·会食
(2)ゴルフ

幹事　在郷者 名簿 あ行
実行委員長 石田仲一
〒395-0077
飯田市丸山町4丁目5569-91
TEL 0265-24-7876

同窓会　東野支部
支部長 武田年史（高11回）
飯田市宮の前4421-11
TEL　0265-23-0917

長野県飯田高校 一八会
18回生　天竜峡へ集まれ～
6月10日(土)

平成18年6月10日(土)·11日(日)　式典·宿泊龍峡亭
(詳細は連絡致します。飯田高校HP18回を参照)
一八会会長 矢澤章弘
事務局長 土屋公久

IT·自動車関連部品製造
株式会社 南信精機製作所
上伊那郡飯島町七久保815
TEL 0265-86-3215
URL:http://www.clio.ne.jp/home/nanshinss/
代表取締役社長 片桐光繁（高15回）

北原歯科医院
院長 北原一幸
松川町元大島1492
TEL 0265-36-2124
（高15回）

旭松食品株式会社
代表取締役社長
赤羽源一郎（高20回）

はと錦
原　隆澄（高21回）
飯田市鼎一色64-1
TEL 0265-22-0810

中央大学白門会事務局
飯田信用金庫業務部
白子和夫（高22回）
飯田市中村37-5

おかげさまで今年開店36周年
café·restaurant
BEAVER
飯田市上郷飯沼3049 上郷小学校北隣
TEL 0265-24-4818
飯田高校よりスキップで3分
代田俊雄（高23回）

『漂　泊　～時間のいれもの～』
2005年　国　展
林　耕史（高31回）

おみやげ文化をもっと伝えたい
株式会社マツザワ
代表取締役社長
松澤　徹（高26回）
〒399-3192
長野県下伊那郡高森町下市田3123
TEL 0265-35-3911
FAX 0265-35-3955

HillSTAGE 佐々木写真館
STUDIO & DIGITAL IMAGING / Est.1875
きれい写真館 きれいフォトショップ
社長 佐々木　滋（高27回）

内科·小児科
医療法人　健進会
佐藤医院
院長 佐藤　健（高28回）
下伊那郡根羽村1850-1
TEL 0265-49-2011